

# なぞなぞ

## こたえあわせ

- ①帽子の中に入っている動物はなに？ （答え うし ） **ぼうし**
- ②どうしてもまんなかだけ食べることができないおかしくてなに？ （答え ドーナツ ）
- ③飲むとおこられるジュースってなに？ （答え コーラ ） **コーラ！！**
- ④おいしくて甘い てら ってどんなてら？ （答え かすてら ） **かすてら**
- ⑤ねずみが通っている学校ってどんな学校でしょう？ （答え 中学校 ）**チュー学校**
- ⑥いつも文句ばかり言っている動物はなに？ （答え うし ） **モー**
- ⑦世界(せかい)のまんなかにいる虫はなに？ （答え か ） **せかい**
- ⑧春にきれいな声でなく いす ってなに？ （答え うぐいす ）
- ⑨とっても冷たい いす ってなに？ （答え アイス ）
- ⑩鬼(おに)がいつもにぎっているものってなに？ （答え おにぎり ）
- ⑪いつも大事にお金をしまっている、サイ ってなに？ （答え さいふ ）
- ⑫リスやウサギが勝って、ライオンやキリンが勝てないゲームってなに？ （答え しりとり ）
- ⑬アンパン、食パン、クリームパン。 （答え 食パン）  
この中でちゃんと人の話を聞くことができるパンはどのパンでしょう？ **耳があるから**
- ⑭食べるとお父さんが嫌いになるフルーツってなに？ （答え パパイヤ ） **パパ 嫌**
- ⑮雨がふったら そらにむかってひらく 一本足ってなあに？ （答え かさ ）

何問正解したかな？

## 絵本を読んであげよう

★絵本がなくても、子どもは育ちます。絵本は乳幼児の成長に必要なのでしょうか？  
では、なぜ絵本が乳幼児に大切だといわれているのでしょうか？

- ① 絵本は役に立つ、ためになるといったものではなく”楽しみ“そのもの1冊の絵本が、子どもに与える楽しみや喜びです。
- ② 親子が心を開き、通い合わせるコミュニケーション。気持ちが自然に寄り添い通い合う時間です。親にも子どもにも心の中にはっきりと残る思い出。それが人と人の絆というものかもしれません。
- ③ 絵本を読んでもらうことで、耳で聞き、目で絵を見て、想像を膨らませる“言葉や情緒など心が豊かになるきっかけになります。

★絵本を読んであげる時間は、5分から10分あれば十分です。お母さんじゃなくてもお父さんでもおじいちゃんおばあちゃんでもいいのです。そして、心がこもっていれば上手下手は関係ありません。

- ① 読みっぱなしでよい。絵本を読み終えた後に、感想を聞いたり、質問をしたりしない子どもの方から語りかけてきたり、質問をしたりした場合は、喜んで話し合うといいでしょう。子どもが想像したり物語に浸っている時間を大事にしましょう。
- ② 何度も同じ本を読んでほしいがる。5歳なのに赤ちゃんの本を持ってくる。今、その子の心が要求している本です。何度でも読んであげてください。

### ★大人も楽しい絵本の世界

お家の方も、小さい時、絵本を読んでもらった記憶はありませんか？

家庭や保育園、幼稚園、学校。ご飯を食べるように、絵本は心の栄養になります。大人になって改めて絵本をみると、作者の仕掛けや隠れたキャラクターシリーズものの共通点など発見も沢山あります。大人になってから改めて読んで涙した！という絵本もあります。絵本は子どもだけのものではありません。一緒に楽しんでみませんか？



次回は  
絵本の選び方について